

一村 一親子楽園（夢アイデア 25 年作品）

どの町にもある街かどの都市公園は、何か面白くない。子どもの姿を見かけない。仕方なくブランコに乗って遊んでいるようで、子どもの感性が磨かれているとはなかなか思えません。田舎にはいくらでありそうですが、どぶ川と化していて、せいぜいザリガニを捕ったり、小魚を捕ったりして遊んでいます、可哀そうです。本当に親子で、あるいは子ども単独で、望まれる公園とはどのようなものでしょうか。

たとえば、福岡市の南公園（植物園、動物園）は、親子ででも大人だけでも楽しい時間をもてます。たしかに探せばいくつもありそうですが、それらは専門的な目で見て設計され、規模や予算もしっかりしていなければあらないので、限られてしまいます。

せめて町（市町村合併以前の町単位）に一つ、親子で汗を流し、豊かな情操を育てられる場所がほしいものです。（理想の公園の一例は、篠栗町にある九大演習林です）

必要条件としてのトイレ、電話などを備え、安全であることは当然ですが、十分条件がいくつかあります。まず水辺と木陰です。木陰がないと、特に夏場は人影がなくなります。その理想は、樹木では、東京都世田谷区の羽根木公園プレーパークでしょう。水辺は流れがあるのが理想ですが、なくてもビオトープはできます。できるだけ自由に浸かって遊べるのが理想です。

そこで、一村につき一つ、このような場に向けた遊休の土地を探して、造ることを提案したいと思います。

- 1) そこに行けば、安全安心して子ども一人でも楽しく遊べ、自然が学べる。
- 2) 高齢者等、時間に余裕のある人びとがボランティア精神で子どもを見守り、あるいは遊びのアドバイスをします。親も一日、リラックスできる。既存の旧役場とか図書館が近くにあれば、親も子も学べる。
- 3) 子どもの安全のため、管理用車両を除いて通行を禁止し、周辺の駐車場で止めます。

建設の進め方の手順

町全体で造る意思を確認する 場所を探す ゾーニングする 少しずつ手
入れする 開放する 反応を見ながら手直しする 完成に向かう
(予算がないので、無理しない範囲でぼちぼち造っていきます！ 10 年、20 年かかって
もいい)

